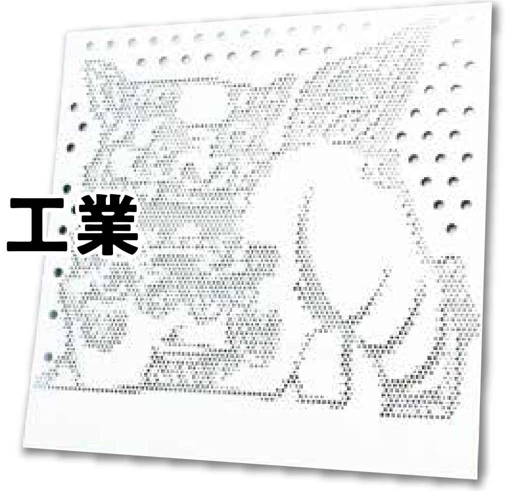
CASE
02.

平成27年度　革新的サービス　一般型

有限会社海邦ベンダー工業



金属板を入れるとバリを削り取ってくれる

バリ取り機導入による
高精度加工技術の習得

デザイン性の高い金属製品によく行われるパンチング加工。その後工程のバリ取り作業を劇的に効率化できる機械を導入した。その結果、生産性の向上につながり、売上げや利益率アップに貢献。さらに働き方改革の進展にも寄与している。

課題

■ 手作業によるバリ取りは手間と時間がかかる

事業のきっかけ

当社はステンレス、スチール、アルミなどの金属を素材とする建具などの製造、加工を手掛けており、オリジナルのデザイン加工が増加傾向にある。デザイン性が重視される製品では金属素材にパンチング(穴あけ)加工を行う場合がある。それを行うと裏側にバリ(そり返った部分)ができるが、そのままだと品質にかかわるだけでなく、触れたときにケガの恐れもあるため、研磨する必要がある。従来この作業は人手に頼っていて、かなりの時間と手間が必要だった。難しい仕上げは外注することもあり納期が長くなることもあった。さらにこの仕事は人によって仕上がりにムラがあり、その改善も課題だった。

成果

■ 独自の工夫も行い、歩留まりもよくなった

事業の取り組み～成果

事前に細かい工程を確認していたこともあって、バリ取り機の導入や稼働は比較的スムーズに行うことができた。一方、営業的な要請もあって、より幅の大きい金属板に対応させることができる工夫を行った。これは機械のカタログ上の最大幅よりも寸法の大きい金属板の研磨処理を可能にする試みで、メーカーの担当者が来社しているときに一緒に研究したりしながら、機械の挿入口の左右にストッパーを設けることで実現することができた。これによって材料のロスが少なくなって歩留まりがよくなり、コストの低下が期待できるようになった。利益率の向上にも寄与すると考えられる。

展望

■ 残業が減り、生産性と利益の向上に寄与

今後の展望

パンチング加工はデザイン性の高い製品に対して行うことが多いため、景気のよい時期に増える傾向がある。したがって、現在はバリ取り作業も比較的多い状況である。こうしたなかでこの機械を導入したところ、作業量が従来の1/20程度まで激減しており、省力化に高い効果を発揮しそうだ。一方で働き方改革に取り組む必要もあって、残業時間を減らす方向にあり、それにも貢献しそうである。さらに、この機械をフル稼働させれば生産性が向上し、それによってパンチングが必要な仕事を従来よりも多く受注できて利益も大きくなる。それを従業員にも還元していきたい。

県内初導入となるバリ取り機

着々と機械化が進む工場内

Q　御社のモットーを教えてください

A　「工場はお客様に見せるもの!! 工場は最大の営業マン」。工場における製作技術には絶対の自信を持っている。

代表取締役社長
登川 将光 さん

工場長
平敷 好仁 さん

つむぐ × つなぐ

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

登川さんビジョン

当社では70代の社員も現役として働いており、若手にもそのくらいの年まで働いてもらえるような職場環境にしたい。それに向けて働き方改革を進めているが、実現には売上げや利益を確実に上げていく必要がある。今回導入した機械を活用し人材不足や長時間労働の解決、経営の面でも売上や利益に貢献させていきたい。

平敷さんビジョン

パンチング加工後の金属板のバリ取りを手作業でやるとかなり大変。腕はパンパンになるし、取り残しもある。バリ取り機はその改善に非常に役立っている。人材採用が厳しい時代なので友人や知人を採用することもあるが、一緒に働く仲間となって「ここで働いてよかった」といってもらえるような職場にしていきたい。

金属製品製造業

有限会社海邦ベンダー工業

〒901-0306
沖縄県糸満市西崎町 5-14-9
tel.098-994-7465　fax.098-994-7467

・代表者名	代表取締役社長 登川 将光	・設　　立	平成4年9月
・資 本 金	300万円	・従業員数	65人